

オープンキャンパス2026

各日程の詳細は
WEBでチェック!



4.26 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

6.7 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

7.5 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

7.19 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

8.2 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

8.22 SAT

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

9.20 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

2027 3.28 SUN

会場 渋谷キャンパス
会場 日野キャンパス

2027年度 大学院入学試験日程

※一部の専攻では事前面談が必須です。詳細は2027年度大学院募集要項をご確認ください。

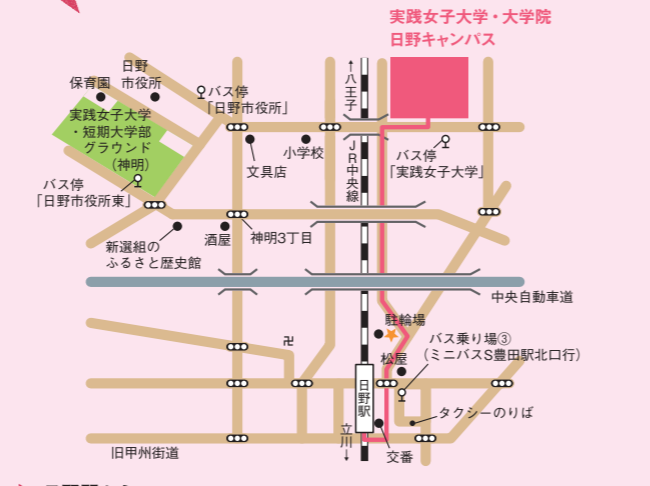
入試種別	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I期 食物栄養学 生活環境学	9月 1日(火)～ 9月 8日(火)必着 ※最終日のみ窓口受付可(12:00締切)	9月17日(木)	9月28日(月) 10:00	10月5日(月)
II期 全専攻	10月 5日(月)～ 10月15日(木)必着 ※最終日のみ窓口受付可(12:00締切)	10月29日(木)	11月6日(金) 10:00	11月12日(木)
III期 全専攻	2027年 1月27日(水)～ 2月 4日(木)必着 ※最終日のみ窓口受付可(12:00締切)	2027年 2月15日(月)	2027年 2月19日(金) 10:00	2027年 2月25日(木)

渋谷キャンパス



- ▶ 渋谷駅から
JR(山手線・埼京線・湘南新宿ライン)
東京メトロ(銀座線・半蔵門線・副都心線)
東急(東横線・田園都市線)
京王(井の頭線)東口から徒歩約10分
- ▶ 表参道駅から
東京メトロ(銀座線・半蔵門線・千代田線)B1出口から徒歩約12分

日野キャンパス



- ▶ 日野駅から
徒歩約12分(推奨)
- ▶ 高幡不動駅から
(いずれも約10分に1本の運行)
京王バス[日野駅行き(日02)]約15分+「日野市役所」下車、徒歩約5分
京王バス[日野駅行き(日03)]約13分+「日野市役所東」下車、徒歩約10分

実践女子大学 大学院

Graduate School of Jissen Women's University

GUIDE BOOK 2027

渋谷キャンパス

文学研究科

国文学専攻 [博士前期課程・博士後期課程]
英文学専攻 [修士課程]
美術史学専攻 [博士前期課程・博士後期課程]

渋谷キャンパス

人間社会研究科

人間社会専攻 [修士課程]

日野キャンパス

生活科学研究科

食物栄養学専攻 [博士前期課程・博士後期課程]
生活環境学専攻 [修士課程]



大学院生のための 様々な制度をご用意しました！

各種奨励金
制度

長期履修
制度

リサーチ・
アシスタント
制度

学外研究資金
の
獲得支援

01 各種奨励金制度

詳細はこちら >>



大学院在学中の研究活動をサポートするため、3つの奨励金制度を導入しています。

在学中から学会に参加したり、学会誌等に論文を投稿したりするなど、研究活動を積極的に行うことは、皆さんの論文作成や進路選択にとって、たいへん役立ちます。これらの奨励金制度を有効に活用して、充実した大学院生活を送る手助けとしてください。

✓ 大学院学会奨励金 (対象:修士課程・博士前期課程・博士後期課程)

学会に参加する際の交通費、宿泊費や参加費等を助成する制度です。

	種類	支給額(一律)	支給回数上限※	
			修士・博士前期課程	博士後期課程
1	参加のみ	20,000円	年次毎に いずれか1回まで	年次毎に いずれか2回まで
2	発表あり(国内)	50,000円		
3	発表あり(海外)	100,000円		

※修業年限を超えて在籍する者は、年次毎にいずれか1回までの申請上限とする。
※「発表」には、ポスター発表を含む。
※オンライン開催の学会に参加した場合は、以下の取扱いとする。
発表ありの場合:参加費の有無を問わず「発表あり(国内)」の区分で支給。
参加のみの場合:参加費が有償のものに限り「参加のみ」の区分で支給。参加費が無償の場合は、対象とならない。
※その他支払条件に定めあり。

✓ 大学院論文投稿支援金 (対象:修士課程・博士前期課程・博士後期課程)

学会誌や学術誌への論文投稿にかかる費用を助成します。

▶ 要件

本学大学院の学生として投稿する場合に限る。
共著の場合は、筆頭著者として投稿した論文であること。

▶ 支給基準

- 論文作成・投稿経費(実費:上限50,000円/年)
作成にかかる翻訳料、英文等校閲料、または投稿料、掲載料、オープンアクセス料等
- 別刷・抜刷代(実費:上限10,000円/年)

✓ 大学院博士後期課程奨励金 (対象:博士後期課程)

博士後期課程に在籍する若手研究者の研究活動費全般を助成します。

※申請者は研究計画を提出し、学内会議での審査を経て承認される必要があります。

支給額 150,000円(年額・奨学金として)

02

長期履修制度

詳細はこちら >>



「長期履修制度」とは、就労や育児・介護等の事情があり、大学院所定の標準修業年限で修了することが困難な社会人にも修学機会を拡大するための制度です。修士課程・博士前期課程において通常2年の修業年限を3年または4年に延長し、大学院生のライフイベントによる状況の変化に、柔軟に対応します。

▶ 対象

修士課程・博士前期課程に入学する者のうち、以下のいずれかに該当する者を対象とします。

- 職業を有している者(臨時雇用者及び自営業従事者を含む)
- 育児あるいは介護等の事情を有する者
- その他、特別な事由があり研究科委員会で相当と認められた者

▶ 申請時期・決定

申請は大学院出願時のみ受け付けます。出願時に申請しない場合、原則としてその後の変更は認めません。申請可否は、合否判定とともに決定します。

▶ 修業年限・在学年限

修業年限: 3年または4年とします。

在学可能年限: 修業年限が3年の者は4年、修業年限が4年の者は5年とします。

▶ 履修単位数制限

1年あたりの履修単位の上限は定めません。

✓ 修業年限の変更/長期履修学生への変更について

1 修業年限の変更を希望する場合

長期履修学生として入学後、やむを得ない理由で修業年限の変更を希望する者は、研究科委員会で認められた場合に限り、2年次進級時に修業年限を変更することができます。

2 標準学生から長期履修学生への変更を希望する場合

標準学生として入学後、やむを得ない理由で長期履修学生への変更を希望する者は、研究科委員会で認められた場合に限り、2年次進級時に長期履修学生に移行することができます。この場合、修業年限は3年または4年とします。

3 再入学者について

再入学者についても、研究科委員会で認められた場合に限り、①、②の申請が可能です。ただし、再入学の時点で2年次以上に再入学した場合はこの変更はできません。

INTERVIEW

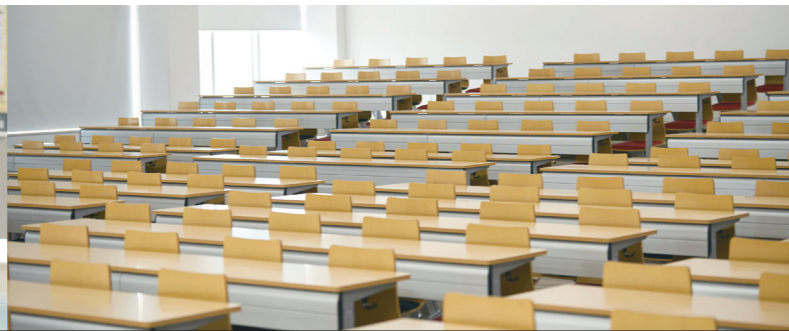


長期履修制度利用者の声

キャリアを継続しながら大学院進学を叶えられた

実践女子大学の国文学科を卒業し、現在はレストランのレセプションリストとして働いています。日本語教師の仕事に興味を持ち、当初は科目等履修生として授業を受けていましたが、担当教授の勧めで「長期履修制度」を利用して大学院を受験しました。仕事が好きで継続したいと考えていたため、修業年限を3~4年に延長して学べることは非常に心強いものでした。仕事との両立に苦労するときもありますが、社会人を経験したからこそ興味のある分野を学べる楽しさを改めて実感しています。仕事を理由に大学院進学を諦めず挑戦して良かったです。

齊藤 敦子さん 文学研究科 国文学専攻
博士前期課程 2年



リサーチ・アシスタント制度

詳細はこちら >>



大学院博士後期課程の在学者を対象として、RA(リサーチ・アシスタント)の制度を導入しています。

RAに任用されることで、本学の研究プロジェクト等に補助者として参加し、給与を得ながら、研究活動に携わることができます。

RA(リサーチ・アシスタント)とは……

優秀な博士後期課程の大学院生が、大学が行う研究プロジェクト等に研究補助者として参画し、これに対する手当ての支給を通じて経済的支援を行うとともに、研究遂行能力の育成や研究体制の充実を図るものです。(文部科学省の定義より)

▶ 要件

(2026年4月時点)

本学の大学院博士後期課程に在籍していること。
本学が行う研究プロジェクト等に参加し、年度内に6か月以上、研究補助業務に携わること。
将来、研究者になる意欲と優れた能力を有すること。

▶ 待遇

※その他、本学規定による。

給与 時給2,000円
勤務時間 週15時間かつ年間360時間を上限とする。
その他雇用条件等 本学園の臨時職員就業規則による。

▶ 手続

必要書類(採用計画書、履歴書)をもとに所属する研究科の会議で審議し決定する。
詳細は指導教員と相談のこと。

学外研究資金の獲得支援

詳細はこちら >>



学外団体が公募する研究資金の獲得は、安定した大学院生生活や、研究活動の高度化につながります。

本学では次のような取組みにより、学外研究資金の獲得支援を行います。

- 学外研究資金に関する情報発信の強化
- 学外研究資金の申請書類作成支援
- 日本学術振興会特別研究員の申請書類作成支援
- 学外研究資金の申請に関する相談窓口の設置(研究推進室)



2026年度(実績) 大学院入学学費等納付金一覧

2026年度入学学費等納付金は、以下一覧をご参照ください。(学費の消費税は非課税です。)

▶ 標準修業年

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費				
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080
		美術史学専攻	博士後期課程	230,000	350,000	45,000	3,120	628,120	395,000	1,023,120
		英文学専攻	修士課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	115,000	[年額] [※1] 350,000	—	—	465,000	—	465,000
			修士課程	230,000	350,000	45,000	2,080	627,080	395,000	1,022,080
			修士課程	230,000	360,000	45,000	2,080	637,080	405,000	1,042,080
内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080
		美術史学専攻	博士後期課程	50,000	350,000	45,000	3,120	448,120	395,000	843,120
		英文学専攻	修士課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	57,500	[年額] [※1] 350,000	—	—	407,500	—	407,500
			修士課程	50,000	350,000	45,000	2,080	447,080	395,000	842,080
			修士課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080
生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080	
		博士後期課程	50,000	360,000	45,000	3,120	458,120	405,000	863,120	
		修士課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080	
生活科学研究科	生活環境学専攻	修士課程	57,500	[年額] [※1] 360,000	—	—	417,500	—	417,500	
		修士課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080	
		修士課程	50,000	360,000	45,000	2,080	457,080	405,000	862,080	
備考			入学時1回	後期授業料は 前期と同額 [※1] 研究期間が 6ヶ月の場合は半額	年額 90,000	入学時1回 ※修業年限に より異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。

▶ 長期履修(3年)

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費				
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
		美術史学専攻	修士課程	230,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
		英文学専攻	修士課程	230,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	230,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	493,120	260,000	753,120
			修士課程	230,000	240,000	30,000	3,120	503,120	270,000	773,120
			修士課程	230,000	240,000	30,000	3,120	503,120	270,000	773,120
内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
		美術史学専攻	修士課程	50,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
		英文学専攻	修士課程	50,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	50,000	[※2] 230,000	30,000	3,120	313,120	260,000	573,120
			修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120
			修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120
生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
		博士後期課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
		修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
生活科学研究科	生活環境学専攻	修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
		修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
		修士課程	50,000	240,000	30,000	3,120	323,120	270,000	593,120	
備考			入学時1回	後期授業料は 前期と同額 [※2] 文学研究科、 人間社会研究科の 3年目は240,000	年額 60,000	入学時1回 ※修業年限に より異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。

▶ 長期履修(4年)

【単位:円】

区分	研究科名	専攻名	課程	学費			その他の納付金 学生教育研究 災害傷害保険	入学手続時 納付金合計	後期納付金 (10月)	初年度 納付金 合計
				入学金	授業料 (前期分)	施設設備費				
一般	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
		美術史学専攻	修士課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
		英文学専攻	修士課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	230,000	175,000	22,500	4,010	431,510	197,500	629,010
			修士課程	230,000	180,000	22,500	4,010	436,510	202,500	639,010
			修士課程	230,000	180,000	22,500	4,010	436,510	202,500	639,010
内部	文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
		美術史学専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
		英文学専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
	人間社会研究科	人間社会専攻	修士課程	50,000	175,000	22,500	4,010	251,510	197,500	449,010
			修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010
			修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010
生活科学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
		博士後期課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
		修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
生活科学研究科	生活環境学専攻	修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
		修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
		修士課程	50,000	180,000	22,500	4,010	256,510	202,500	459,010	
備考			入学時1回	後期授業料は 前期と同額	年額 45,000	入学時1回 ※修業年限に より異なる				

※学生教育研究災害傷害保険の金額は、(公財)日本国際教育支援協会の保険料の見直しによっては変更となる場合があります。 ※次年度以降の学費等は経済変動にともない改定することがあります。

文学研究科

研究科の概要

日本、東洋、西洋各地域の文学、言語、美術の各分野における研究に取り組みます。

国文学専攻

[博士前期課程・博士後期課程]

上代から現代に至る日本文学、日本語学、日本語教育、中国文学(漢文学)の科目を開設。幅広い分野の専任教員から、適切な指導を受けることができます。成蹊大学大学院・中央大学大学院・青山学院大学大学院・國學院大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があり、大学の枠組みを超えた交流が可能です。

英文学専攻

[修士課程]

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象を中心に深く学ぶとともに、より広範な文化事象などの関連分野についても学ぶ機会を設けることにより、豊かな人間性を涵養し、社会の様々な分野で活躍するための能力を育むことができるようカリキュラムを編成しています。また、中央大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

美術史学専攻

[博士前期課程・博士後期課程]

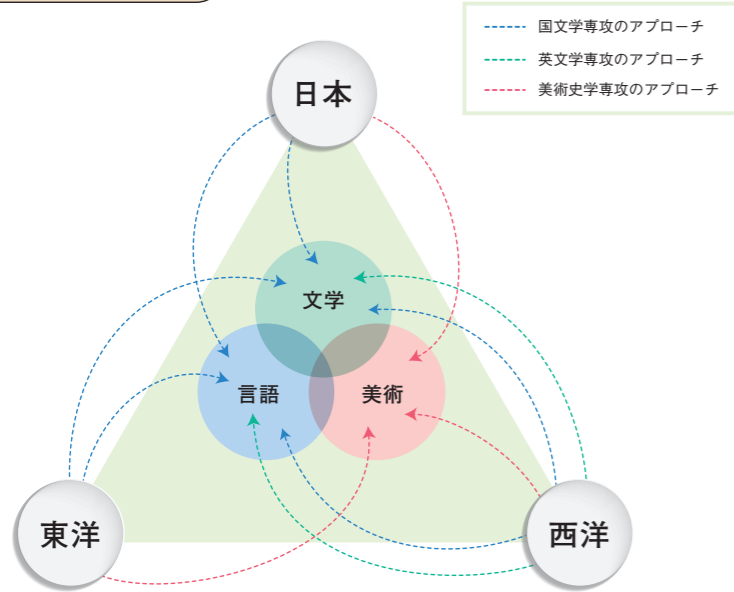
日本美術史、日本近代美術史、仏教美術史、西洋美術史、西洋近代美術史、現代美術史、芸術学、民俗芸能の専任教員のもとに、専門的な研究を深めます。実作品の調査を重視し、実証的な研究方法を身につけます。また、隣接領域を学びつつ、異なる関心を持つ学生同士が切磋琢磨できる環境も特徴です。青山学院大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

大学院での高度な研究を支える図書館

和書、洋書、雑誌及び雑誌バックナンバー等、豊富なコレクションを所蔵。更に電子ブックや電子ジャーナル、国内外の文献調査に有用なデータベースを数多く提供、文献管理ツール(RefWorks)の導入など、大学院生の研究活動を支える充実した図書館です。



研究領域の概念図



養成する人材像

国文学専攻

国際的に活躍できる高度専門職業人として。研究者として。

高度な学識と研究能力を生かして、社会の各分野で指導的役割を果たすことのできる人材を育てます。また、研究者として自立できるだけの実力を育みます。

キャリアパス

(修了後の進路イメージ)

中学・高校教員(国語科) / 日本語教師(大学、日本語学校等) / 研究職(大学、文化財行政等) / 公務員(司書等) / 一般企業(事務職等) / 進学 等

英文学専攻

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象について深く理解する人材の育成。

高度な英語運用能力と、英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象についての広い学識を身につけた研究者、中学校・高等学校教諭(英語)のほか、広く海外で活躍できる人材を育てます。

キャリアパス

(修了後の進路イメージ)

中学・高校教員(英語) / 大学専任・非常勤講師(英語・英米文学文化・言語学) / 情報通信業(技術職) / 教育・学校支援業 / サービス業(文化団体) / 翻訳業 / 進学 等

美術史学専攻

高度な専門性と実践的能力によって社会に貢献する人材。

研究を通して身につけた専門知識、調査能力、表現力を活かし、美術館・博物館をはじめ、公的機関、企業において、多様な文化・芸術を広く社会に伝える人材を育てます。

キャリアパス

(修了後の進路イメージ)

学芸員(博物館、美術館等) / 研究職(大学、文化財行政等) / 博物館・美術館・展覧会の運営に関わる職 / 一般企業(販売職、事務職等) / 進学 等

※各免許・資格は本学大学院修了と同時に取得または受験資格を得られるものではありません。

文学研究科

国文学専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

池田 三枝子

専門分野：万葉集を中心とする上代文学
最近の研究テーマ等：「文学園」「歌壇」等と称される人的ネットワークと、それを基盤として醸成される歌表現についての研究

大橋 直義

専門分野：中世日本文学・宗教文献学・宗教文化史学
最近の研究テーマ等：寺社縁起(絵巻・掛幅縁起絵・参詣曼荼羅)および寺誌、軍記物語・私撰国史・歴史物語・系図・血脈など、日本中世の歴史叙述とその書物についての研究。巡礼・参詣の史的研究。地域史研究と文化財(殊に古典籍・聖教)研究の架橋

齋藤 樹里

専門分野：日本近現代文学
最近の研究テーマ等：①太宰治、齋藤緑雨を中心とした、日本近現代文学の中の〈芝居〉の引用に関する研究。②日本近現代文学の中の韓国語表象に関する研究

田中 靖彦

専門分野：漢文学、中国史学史
最近の研究テーマ等：①中国における三国時代・三国人物像の変遷。②宋代における正統論の展開と三国論

福嶋 健伸

専門分野：日本語学、主に文法
最近の研究テーマ等：日本語のテンス・アスペクト・モダリティの変遷に関する研究

舟見 一哉

専門分野：和歌文学、中古文学、書誌学、文献学
最近の研究テーマ等：中古中世における古典学の総体解明。とくに古典籍・古筆切を利用し、六条藤家の古典学、古今集注釈史を対象とする(2026年度長期研修)

ブルナルカーシュ

専門分野：日本近代文学、比較文学、翻訳研究
最近の研究テーマ等：外国文学、ことにロシア文学が日本の近代作家に与えた影響、明治・大正期の翻訳文学の研究。また、日本におけるチェコ文学の受容、チェコ文学にみられるジャゴニズムの表象などを研究

科目紹介 [一部抜粋]

上代文学演習 A・B

A・Bを通して上代文学研究の基礎を身につけることを目的とする。Aでは研究史の把握と用例の博覧に努め、訓読・解釈を決定する力を養う。Bでは更に歴史学・考古学・民俗学等の研究を踏まえ、研究論文を作成する力を身につける。

近代文学研究 A・B

この授業では、国文学専攻の学生の専門分野にあわせて、様々なテキストや映像を教材として活用しながら、研究に必要な英語スキルを鍛えることを目的とする。

日本語学研究 A・B

A・Bを通し、修士論文執筆計画を立て、修士論文の最も中心となる部分に磨きかける。具体的には、研究発表をし、その後、投稿論文に仕上げるという作業を行う。実際に、研究会で発表し、学術雑誌(『実践国文学』等)に投稿してもらうことが本授業の特徴である。

山内 博之

専門分野：日本語教育
最近の研究テーマ等：①日本語教育における語彙シラバスの作成に関する研究 ②日本語教育文法に関する研究 ③日本語教育スタンダードに関する研究

山田 里奈

専門分野：日本語学
最近の研究テーマ等：近世後期江戸語から明治期東京語における待遇表現の変遷。当期の丁寧な言葉遣いに関する研究。

漢文学研究 A・B

中国の歴史と歴史観について講義する。中国の歴史の概説を学ぶのと並行して、中国における歴史書の筆法や、正統論の概念について検討する。

中世文学研究 A・B

書物(古典籍・寺院経蔵文献)に軸足を置いた文化財の俯瞰的研究。ある寺社に蔵される書物のみならず、当該地域に所在する文化財を俯瞰的に見わたす方法を具体的に学ぶ。その過程において、寺院経蔵調査・実地的文化財調査を含む学術的アプローチに習熟する。

日本語学演習 A・B

Aで室町時代の話し言葉がわかる資料、Bで近世後期江戸の話し言葉がわかる資料を用い、日本語について共時的・通時的に学ぶ。国立国語研究所の日本語歴史コーパス(CHJ)等も用いながら、具体的な用例を見て分析・考察する力を養う。

カリキュラム

博士前期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学研究A・B	選択各2単位
上代文学演習A・B	選択各2単位
中古文学研究A・B	選択各2単位
中古文学演習A・B	選択各2単位
中世文学研究A・B	選択各2単位
中世文学演習A・B	選択各2単位
近世文学研究A・B	選択各2単位
近世文学演習A・B	選択各2単位
近代文学研究A・B	選択各2単位
近代文学演習A・B	選択各2単位
日本語学研究A・B	選択各2単位
日本語学演習A・B	選択各2単位
日本語教育研究A・B	選択各2単位
日本語教育演習A・B	選択各2単位
漢文学研究A・B	選択各2単位
中国文学演習A・B	選択各2単位
日本語日本文学研究A・B・C・D・E・F	選択各2単位
日本語日本文学演習A・B・C・D・E・F	選択各2単位
特別研究A・B	選択各2単位

博士後期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学特殊演習A・B	選択各2単位
中古文学特殊演習A・B	選択各2単位
中世文学特殊演習A・B	選択各2単位
近世文学特殊演習A・B	選択各2単位
近現代文学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語教育学特殊演習A・B	選択各2単位
中国文学特殊演習A・B	選択各2単位
日本語学特別研究A・B	選択各2単位
日本文学特別研究A・B	選択各2単位

日本語教育演習 A・B

Aで類似表現研究の方法を体得し、Bで類似表現の使い分けに関する指導書を作成する。日本語教師が参考にできる指導書にすることを考え、内容の確かさと文章のわかりやすさが両立した原稿の作成を試みる。

日本語日本文学演習 A・B

A・Bを通して近現代文学の中で著名な「文学論争」の一つを取り上げ、言語の応酬の中からみられる作家や批評家それぞれの文学観・芸術観の対立やその文学史的意義について検討・討論する。一次資料を精査しつつ論争の言説を丁寧に読み解くことで、日本文学がいかなる問題意識の元で形成されていたのかを考察する。

英文学専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

稲垣 伸一
<div> <div>専門分野: 19世紀アメリカ文学・文化</div> <div>最近の研究テーマ等: 19世紀アメリカの文化（宗教・社会改革運動・科学思想など）と同時代の文学作品との相互関係</div> </div>
猪熊 作巳
<div> <div>専門分野: 生成文法理論・言語の生物学的基盤</div> <div>最近の研究テーマ等: 名詞句の内部構造と意味解釈・進化的に見た言語理論の最適性</div> </div>
佐々木 真理
<div> <div>専門分野: 19～20世紀のアメリカ文学</div> <div>最近の研究テーマ等: 19世紀後半から20世紀前半にかけての女性文学と時代変容の関係性</div> </div>
志渡岡 理恵
<div> <div>専門分野: 18～20世紀イギリスの女性作家</div> <div>最近の研究テーマ等: 女性の旅行記・冒険小説と帝国主義の関係、少女文化と教育機関の関係</div> </div>
島 高行
<div> <div>専門分野: 近代イギリス小説</div> <div>最近の研究テーマ等: 探偵小説とゴシック小説の関係性</div> </div>
諏訪 友亮
<div> <div>専門分野: 近代アイルランド文学・文化と英語圏詩</div> <div>最近の研究テーマ等: アイルランド文学における近代的諸概念とファシズムの関係、世界文学としての英語圏詩</div> </div>

専攻の概要

科目紹介 【一部抜粋】

英語圏文学・文化を 探求する科目
<p>英語圏文学・文化研究 A</p> Nathaniel Hawthorne の <i>The Scarlet Letter</i> を精読する。第一に、できるだけ英語を正確に読むこと。第二に、舞台となる場所についての理解を深めながら、各自が主体的に本作品に対するアプローチを見いだしていくことをこの授業の目的とする。
<p>英語圏文学・文化研究演習 B</p> アーサー・コナン・ドイル「シャーロック・ホームズの回想」からいくつかの作品を精読し、関連した英語論文も検討することで、文学理論を実際に使い、テキストの理解を深める。近代イギリス社会の諸相が、上記の作品においてどのように表現されているのか批判的に検証し、現代における意義を明らかにする。

ジェンダー表象を 探求する科目
<p>ジェンダー表象研究 A</p> 本授業では、1993年にノーベル文学賞を受賞した Toni Morrison の第二作目の小説 <i>Sula</i> (1973)を精読する。アフリカン・アメリカンが1920年代から1960年代に至るまでに経験した社会的状況をふまえながら、個人と共同体の関係やアイデンティティの構築性について考察する。特にレスビアニズムの表象が、アフリカ系アメリカ文学に特有のヴァンキュラーの伝統といかに関わっているのかを分析する。
<p>ジェンダー表象研究演習 B</p> 19世紀に活躍した女性作家シャーロット・ブロンテの代表作 <i>Jane Eyre</i> (1847)のVolume3及び批評を読む。Volume3は、ソーンフィールド・ホールを出てからのジェインの生活がブロットの中心となる。特に物議を醸しているロチェスターの呼び声が聞こえる場面を中心に精読し、映像とも比較しながら考察を深めたい。

言語を 探求する科目
<p>言語学研究 A</p> 本授業では社会言語学・語用論・談話分析と深く関連する批判的談話分析(Critical Discourse Analysis)の基礎を学び、ことばに起因する社会の問題について批判的に分析・考察することを目的とする。授業は主に英語で書かれた教科書を輪読していく形で進める。授業の最後には社会で実際に用いられていることばを取集し、談話分析を行い、その結果を発表する機会を設ける。
<p>言語学研究演習 C</p> Noam Chomsky, <i>What Kind of Creatures Are We?</i> (Columbia University Press, 2015)を読む。高度に学術的・抽象的な議論を読み解き、歴史的背景に照らしながらその言語観を検討・評価する。

言語と文化を 多角的な視点から 探求する科目
<p>言語と文化 A</p> 19世紀初めの Maria Edgeworth から20世紀後半の Eavan Boland まで、近現代アイルランド文学・文化のキーテキストを概観する。アイルランドのナショナリズム、プロヴィンシャルイズム／ローカリズムをテーマとする一通りのテキストを読むことで、ポストコロニアル地域であるアイルランドで争点となってきたテーマを理解することを目的とする。
<p>日本美術史特論 A</p> 江戸時代の絵画をめぐる諸問題について論じる。具体的な作品を取り上げ、画面の分析や文献資料の読解等に基づき、その特色を検証する。それを通じて、美術史学の方法論への理解を深める。
<p>日本近代美術史特論 A</p> 東アジアの美術と日本近代美術との関わりについて考察し、幅広い視野のもとに日本美術をとらえなおす。適宜、開催中の展覧会を見学し、作品研究を深める。
<p>仏教美術史特論 A・B</p> 日本・東洋の仏教美術史及び彫刻史の諸問題を検討する。さまざまな方法論を理解し、作品に対するアプローチの仕方を知るところを到達目標とする。
<p>西洋美術史特論 A・B</p> Aでは、西洋美術における歴史画および静物画・寓意画をめぐる問題について、Bでは、西洋美術における図像分析と図像プログラム、そしてこれに関わる作品受容について考える。
<p>西洋近代美術史特論 A・B</p> 西洋近代美術への様々なアプローチを学ぶ。日本語と英語による研究文献の読解を通じて、知識の幅を広げながら、研究方法と論文執筆方法を修得する。
<p>現代美術史特論 A・B</p> 主に戦後から現在にかけてのグローバルな現代美術の通史を概観する。また、現代美術の歴史を理解するうえで不可欠な理論を修め、論文を執筆するための基礎を構築する。
<p>芸術学特論 A</p> アートの領域の広がりや、文化政策、アートマーケット、社会からのニーズ等から考察し、それらが私たちの人生・生活を創造的に組み直すツールであることを確認する。
<p>民俗芸能特論 C・D</p> 国際日本研究の立場から、所与のものとしてされている「日本」の文化事象について批判的に考察し、自己と他者の視点から理解を深める。民俗学・民俗芸能を起点としながら、歴史学、文化人類学、音楽学、舞踊学など領域横断的な視座と文化研究の手法を構築し、各自の研究テーマに繋げる。

美術史学専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

串田 紀代美
<div> <div>専門分野: 近現代芸能史(民俗芸能)、文化資源学、日本語教育</div> <div>最近の研究テーマ等: 占領期アーニー・バイル劇場における舞台演出に関する研究、ダンス・アーカイブの構築、伝統音楽・芸能によるアートマネジメント人材育成、アカデミック・リテラシーの教授法・教材開発</div> </div>
児島 薫
<div> <div>専門分野: 日本近代美術史</div> <div>最近の研究テーマ等: 日本近代美術における女性像についてのジェンダー論、ポスト・コロニアリズムの観点からの分析および東アジア美術との比較、女性画家について</div> </div>
駒田 亜紀子
<div> <div>専門分野: 西洋中世美術史</div> <div>最近の研究テーマ等: ①中世後期における托鉢修道会の展開と彩飾写本のレパトリーの変容、②中世後期におけるラテン語および俗語による聖書系写本彩飾の展開</div> </div>
齋藤 達也
<div> <div>専門分野: 西洋近代美術史</div> <div>最近の研究テーマ等: ①19世紀フランスの美術批評、②西洋における日本美術の受容(ジャポニスム)、③印象派の芸術</div> </div>

科目紹介 【一部抜粋】

日本美術史特論 A
<p>江戸時代の絵画をめぐる諸問題について論じる。具体的な作品を取り上げ、画面の分析や文献資料の読解等に基づき、その特色を検証する。それを通じて、美術史学の方法論への理解を深める。</p>
日本近代美術史特論 A
<p>東アジアの美術と日本近代美術との関わりについて考察し、幅広い視野のもとに日本美術をとらえなおす。適宜、開催中の展覧会を見学し、作品研究を深める。</p>
仏教美術史特論 A・B
<p>日本・東洋の仏教美術史及び彫刻史の諸問題を検討する。さまざまな方法論を理解し、作品に対するアプローチの仕方を知るところを到達目標とする。</p>
西洋美術史特論 A・B
<p>Aでは、西洋美術における歴史画および静物画・寓意画をめぐる問題について、Bでは、西洋美術における図像分析と図像プログラム、そしてこれに関わる作品受容について考える。</p>
西洋近代美術史特論 A・B
<p>西洋近代美術への様々なアプローチを学ぶ。日本語と英語による研究文献の読解を通じて、知識の幅を広げながら、研究方法と論文執筆方法を修得する。</p>
現代美術史特論 A・B
<p>主に戦後から現在にかけてのグローバルな現代美術の通史を概観する。また、現代美術の歴史を理解するうえで不可欠な理論を修め、論文を執筆するための基礎を構築する。</p>
芸術学特論 A
<p>アートの領域の広がりや、文化政策、アートマーケット、社会からのニーズ等から考察し、それらが私たちの人生・生活を創造的に組み直すツールであることを確認する。</p>
民俗芸能特論 C・D
<p>国際日本研究の立場から、所与のものとしてされている「日本」の文化事象について批判的に考察し、自己と他者の視点から理解を深める。民俗学・民俗芸能を起点としながら、歴史学、文化人類学、音楽学、舞踊学など領域横断的な視座と文化研究の手法を構築し、各自の研究テーマに繋げる。</p>

専攻の概要

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

椎原 伸博
<div> <div>専門分野: 美学・芸術学</div> <div>最近の研究テーマ等: ①現代芸術論、②スペイン市民戦争の写真、③オペラ研究、④アートマネジメントの理論的研究</div> </div>
馬淵 美帆
<div> <div>専門分野: 日本中・近世絵画史</div> <div>最近の研究テーマ等: 江戸時代絵画と俳諧文化の関わり、18世紀京都画壇の画家たち、英一傑作品の評価と受容</div> </div>
武笠 朗
<div> <div>専門分野: 日本彫刻史</div> <div>最近の研究テーマ等: 平安後期における和彫刻の成立と展開、後白河上皇と蓮華王院造像、浄土の造形、円派仏師研究</div> </div>
山本 浩貴
<div> <div>専門分野: 現代美術史、文化研究</div> <div>最近の研究テーマ等: ①2000年代以降の日本における地域芸術祭、②エスニック・マイノリティの芸術、③現代アートにおけるジェンダーとエコロジーの問題</div> </div>

仏教美術史演習 A・B
<p>Aでは、古記録・古文書の読み方などを、Bでは関連諸学との関わり、經典等仏教文献の読み方、作品の実地調査・見学の仕方、作品の調書の書き方などを身につける。</p>
西洋美術史演習 A
<p>西洋美術史研究の基礎的方法論と、対象に適した調査・研究方法を実践的に学ぶ。各自の研究テーマに沿って、資料収集・調査、資料・史料の解析・読解等を段階的に修得する。</p>
西洋近代美術史演習 A・B
<p>西洋近代美術を対象とする研究方法を、各自の関心のある具体的なテーマに即して学ぶ。専門的な文献の探索手段、オンライン・リソースの活用法、作品分析と論述の技術などを身につけることで、独自性のある研究を発展させる。</p>
総合演習
<p>修士論文執筆予定者が、各自の研究の成果を持ち寄り、口頭発表を行う。また、すべての分野の教員・院生が参加し、相互に討論検討する。自らの研究状況を確認するとともに、他分野の視線によって、新たな問題点を見だし、研究内容をさらに深化発展させる。</p>
日本美術史特殊研究 A
<p>受講者の研究テーマに即した内容で実施する。各受講者の研究テーマに関わる文献資料を読解しつつ、研究上の課題の整理と解決を目指す。状況に応じて、関連する展覧会見学や作品調査を行い、研究を深める。</p>
日本近代美術史研究指導特殊演習 A
<p>日本近代美術に関しては作品、資料、文献に数多く接することができるので、それらを整理しながら批判的に読み解くことを学ぶ。主体的に研究する姿勢を身につけているよう、実際の論文執筆を個人指導する。</p>
芸術学研究指導特殊演習 A
<p>「都市の美学」という問題意識にたち、その都市形成の歴史を踏まえた上で、そこで開花したさまざまな芸術活動を分析し、その都市が有する独特の美意識について検討する。</p>

カリキュラム

科目名	単位数
日本美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
日本近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
仏教美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
現代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
芸術学特論A・B・C・D	選択各2単位
民俗芸能特論A・B・C・D	選択各2単位
日本美術史演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史演習A・B	選択各2単位
仏教美術史演習A・B	選択各2単位
西洋美術史演習A・B	選択各2単位
西洋近代美術史演習A・B	選択各2単位
現代美術史演習A・B	選択各2単位
芸術学演習A・B	選択各2単位
民俗芸能演習A・B	選択各2単位
総合演習	選択2単位
特殊研究A・B・C・D	選択各2単位
特殊演習A・B・C・D	選択各2単位

科目名	単位数
日本美術史特殊研究A・B	選択各2単位
日本近代美術史特殊研究A・B	選択各2単位
仏教美術史特殊研究A・B	選択各2単位
西洋美術史特殊研究A・B	選択各2単位
西洋近代美術史特殊研究A・B	選択各2単位
芸術学特殊研究A・B	選択各2単位
日本美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
仏教美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
西洋美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
西洋近代美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
芸術学研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
研究方法特殊研究	選択2単位

人間社会研究科

募集
人数

修士課程

人間社会専攻 : 7名

研究科の概要

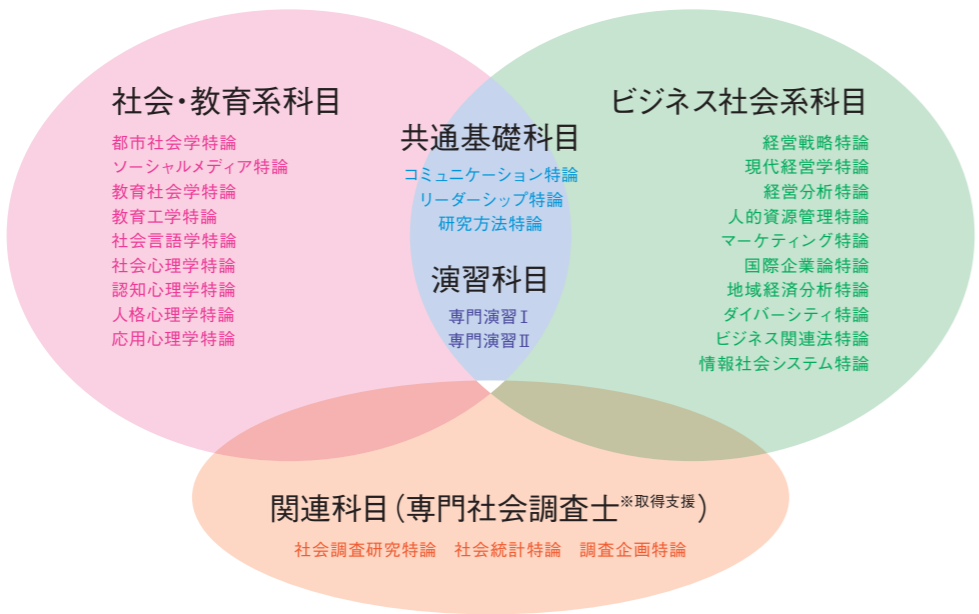
「社会・教育」と「ビジネス」の2つの観点から研究に取り組みます。

人間社会専攻

[修士課程]

人間社会研究科は、わたしたちを取り巻く現実社会における今日的な諸問題を、人間と社会の学際的な研究を通じて総合的・体系的に理解し、高度な専門的知識・能力を駆使して、これらの問題を解決していく組織のリーダー的人材を育成します。カリキュラムは、「社会・教育系専門科目」と「ビジネス社会系専門科目」の2つの専門科目群を核に、共通基礎科目、関連科目、演習科目から構成されており、自分の関心や進路、専門分野に応じた履修が可能となっています。また、関連科目を履修することにより、「専門社会調査士」の資格を取得することができます。

研究領域の概念図



専門社会調査士は一般社団法人社会調査協会が認定する社会調査に関する資格です。高度な調査能力を身につけている社会調査士として認定されます。本研究科では、この資格を取得申請するための3つの科目のすべてが認定されています。

養成する人材像

産業社会の高度化・複雑化、経営の効率化、グローバル化の進行。いま、私たちの社会では、あらゆる場面で高度な専門的知識と技能が求められるようになりました。さらに、インターネットを基盤とする情報の高度化や技術革新への対応には、問題を適切に解決に導く能力と柔軟な応用力、発想力が求められています。このような現代社会において、企業、地域社会、自治体、教育現場等でリーダーシップを発揮できる「高度な専門的知識と技能を兼ね備えた人材」を育成します。

主に社会・教育系を学ぶ履修モデル

教育・文化事業に貢献できる人材

心理学、社会学、教育学などの専門的知識を身につけ、教育・文化事業や社会貢献活動、地域活性化活動などをマネジメントできる人材を育成します。

キャリアパス

(修了後の進路イメージ)

自治体 / 官公庁 / 社会的企業 / NPO法人 / 一般企業 / 病院 等

主にビジネス系を学ぶ履修モデル

ビジネスにおいてリーダーシップを発揮できる人材

会計、人事、マーケティングなどの経営学や経済学、法学などの専門的知識とリーダーシップ能力を身につけ、あらゆる分野、業種での中堅幹部やマネジャー、さらにはシンクタンク等の研究員として活躍できる人材を育成します。

キャリアパス

(修了後の進路イメージ)

一般企業(人事・総務・経理・営業) / 官公庁 / シンクタンク / コンサルティング会社 等

人間社会研究科

人間社会専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

粟津 俊二

専門分野：認知科学
最近の研究テーマ等：言葉の理解に関する認知過程・脳内過程の解明と教育への応用

井上 綾野

専門分野：消費者行動論
最近の研究テーマ等：倫理的消費と消費者政策

角本 伸晃

専門分野：地域経済学、観光経済学、都市経済学
最近の研究テーマ等：観光による地域活性化の経済分析

児玉 充

専門分野：戦略経営論、技術経営論、システム論
最近の研究テーマ等：創造性とイノベーション、ダイナミックケイバビリティ、等

駒谷 真美

専門分野：メディア情報リテラシー、メディア社会心理学、ICT教育
最近の研究テーマ等：乳児期から老年期までの「メディア情報リテラシー生涯発達理論」の構築と実践研究

佐倉 統

専門分野：科学技術社会論
最近の研究テーマ等：AIやロボットに関する文化的研究、日本の科学技術の文化的特性的研究

標葉 靖子

専門分野：共創デザイン、市民の科学技術関与
最近の研究テーマ等：「科学技術と社会」をめぐる科学技術イノベーション・人材育成政策研究、科学コミュニケーション・対話デザイン実践研究

篠崎 香織

専門分野：経営学(戦略論、組織論)
最近の研究テーマ等：イノベーション・マネジメント、産業集積のダイナミクス

蔣 飛鴻

専門分野：会計学
最近の研究テーマ等：会計情報の有用性

高橋 美和

専門分野：文化人類学
最近の研究テーマ等：カンボジア地域研究(仏教/ジェンダー/エイジングの相互関係、家族親族/ライフコースの動態)

竹内 光悦

専門分野：統計科学
最近の研究テーマ等：量的・質的データに基づく行動計量分析、統計教育のカリキュラム研究およびその国際比較調査

時田 朋子

専門分野：社会言語学
最近の研究テーマ等：世界の英語と教育、カナダの多言語状況

富田 望

専門分野：臨床心理学、行動医学
最近の研究テーマ等：視線・脳機能指標を用いた、社交不安症における自己注目の評価と支援

初見 康行

専門分野：経営学(人的資源管理・キャリア教育)
最近の研究テーマ等：人材育成、インターンシップ、天職感

林 篤裕

専門分野：計算機統計学、教育学、高等教育論
最近の研究テーマ等：論理的記述力を涵養するための教育方法確立に関する基礎研究

原田 謙

専門分野：都市社会学、社会老年学
最近の研究テーマ等：社会的ネットワークと健康、持続可能なまちづくり、プロダクティブ・エイジング

広井 多鶴子

専門分野：教育社会学、家族社会学
最近の研究テーマ等：現代の親子関係をめぐる諸問題と教育問題 親子関係制度の歴史

坊 隆史

専門分野：臨床心理学、産業・組織心理学
最近の研究テーマ等：職場のメンタルヘルス、男性ジェンダーの心理学

吉田 雅彦

専門分野：経済政策、企業研究、国際経営
最近の研究テーマ等：国際経営のための経営学、国際経済事情

カリキュラム

共通基礎科目

科目名	単位数
コミュニケーション特論	選択2単位
リーダーシップ特論	選択2単位
研究方法特論	選択2単位

社会・教育系科目

科目名	単位数
都市社会学特論	選択2単位
ソーシャルメディア特論	選択2単位
教育社会学特論	選択2単位
教育学特論	選択2単位
社会言語学特論	選択2単位
社会心理学特論	選択2単位
認知心理学特論	選択2単位
人格心理学特論	選択2単位
応用心理学特論	選択2単位

演習科目

科目名	単位数
専門演習Ⅰ	必修4単位
専門演習Ⅱ	必修4単位

ビジネス社会系科目

科目名	単位数
現代経営学特論	選択2単位
経営戦略特論	選択2単位
経営分析特論	選択2単位
人的資源管理特論	選択2単位
マーケティング特論	選択2単位
国際企業論特論	選択2単位
地域経済分析特論	選択2単位
ダイバーシティ特論	選択2単位
ビジネス関連法特論	選択2単位
情報社会システム特論	選択2単位

関連科目(専門社会調査士)

科目名	単位数
社会調査研究特論	選択2単位
社会統計特論	選択2単位
調査企画特論	選択2単位

人間社会専攻

科目紹介 [一部抜粋]

共通基礎科目

コミュニケーション特論

多様化が進む現代社会における他者理解には、広い意味での異文化コミュニケーションの知識と技量が必要である。この科目では、言語人類学の成果を学びつつ、異なる立場や文化的背景を持つ人々の理解を深め、社会課題の把握につなげていくためのコミュニケーションの方法を考える。

リーダーシップ特論

本講義では、リーダーシップの理論を体系的に学ぶ。講義前半では代表的な5つの理論を学び、講義後半では、女性活躍をテーマに女性リーダーの育成や課題点について学ぶ。

研究方法特論

社会科学分野の研究にはさまざまな方法がある。この授業では、社会学、教育学、心理学、経営学、経済学を専門とする教員が、それぞれの研究分野の代表的な研究方法についてオンニバスで講義する。

社会・教育系科目

都市社会学特論

都市の空間・社会構造をとらえる理論を理解し、実証研究を進めるために必要な社会地区分析やネットワーク分析などの方法を身につける。さらに地域特性に応じた「まちづくり」の現状と構想について、自治体と住民の協働（パートナーシップ）の視点などから検討する。

ソーシャルメディア特論

ソーシャルメディアの発展・普及によって社会的コミュニケーションすなわち「社会関係資本」の在り方や「公共性」の現れがいかに変化していくかについて分析・考察する。

教育社会学特論

この講義では、現代の家族や学校において注目を集めているさまざまな教育問題を取り上げ、その問題について実証的かつ歴史社会的に分析を行う。

教育工学特論

教育現場においては、生徒・学生に対して教育や指導を行うことに加え、それらの内容がどの程度定着しているかを評価することが重要である。教育効果の測定や評価を支援する技術はこれまでに多く提案されており、これらは教育データを対象とした分析手法の一種と捉えることができる。本講義では、それらの手法の中からいくつかを取り上げ、各手法の原理や結果の解釈方法、適用時に留意すべき点について考察する。

社会言語学特論

言語と社会は切り離すことができない関係にある。本講義は、言語使用者の属性や言語使用状況がどのような影響を言語使用に与えているかについて、具体的な事例を挙げて多角的に考察する。

社会心理学特論

情報社会において、メディアは様々な感想でメッセージを伝えている。本講義では「世界で最も影響力のある社会批評家」と言われるチョムスキーの理論を援用し、米国の最新Web教材を元にプロバガンダの分析法を学修することで、情報社会が抱える課題について思索していく。

認知心理学特論

認知心理学は、ヒトが何かを見聞きし、判断し、記憶し、考える仕組みを扱う学問である。認知心理学の概念や考え方は、さまざまな分野に応用されており、人間に関する多くの学問の基盤ともなっている。この講義では、コミュニケーション場面を中心に、理解の仕組み、わかりやすい説明方法などについて考えていく。

応用心理学特論

応用心理学とは心理学の学問知識を社会的課題に応用させる心理学分野である。本講義では受講生の研究テーマについて心理学の観点から概観することで、自身の修士論文テーマについて新たな視座を得ることを目指す。

人格心理学特論

人格（パーソナリティ）は、行動や心理的特徴の個人差を説明する概念であり、適応のあり方を捉えるうえでも重要な役割を果たす。本科目では、パーソナリティの理論と測定、その由来、行動や精神的健康への影響および支援方法について、先行研究や事例を交えて解説する。

ビジネス社会系科目

現代経営学特論

21世紀の現在、企業経営を取り巻くビジネス環境はますます大きく変化している。ビジネスのグローバル化、急速な技術革新、ICT/AI社会の浸透、環境問題など、多くの課題に企業経営者や管理者は直面している。本講義では、企業が長年に渡り持続的競争優位の獲得と成長を維持していく上で、新たなビジネスモデルを創出していく戦略的マネジメントについての理論と実践について学ぶ。

経営戦略特論

企業の戦略策定と実行を取り上げた多様なケースをもとに、経営戦略に関する基礎的な理論および実践の方法を学習することを通して、実践の場で生きる分析能力および問題解決能力の養成を図る。

経営分析特論

企業の財政状態や経営成績を正しく理解するために、経営分析の知識を身につけることが必要である。本授業では、財務諸表の分析を通じて、企業の収益性、安全性、生産性、成長性をいかに把握するか、その分析手法の修得を目的とする。

人的資源管理特論

本講義では、人的資源管理の歴史的変遷を学び、人材マネジメントの基本フレーム（採用・配置・評価・育成・処遇など）を学ぶ。講義後半では、WLBや女性の活躍推進など、今日的なテーマを検討する。

マーケティング特論

マーケティングは、さまざまなビジネス領域はもちろん、その活用領域は地域社会、行政機関や非営利組織へも拡張されている。現代社会が直面するマーケティング課題を自ら適切に把握し、その解決策を策定し、それを遂行できる能力の習得を目的とする。

国際企業論特論

国際企業の戦略、組織、機能に関する最先端の研究成果を学習。国際企業で事業活動を推進する経営者・管理者に必要な洞察力を高め、ビジネス社会に貢献する女性リーダーの育成を図る。

地域経済分析特論

地域経済の内で観光地・観光産業に焦点を当てて、それに関するデータのネット上での入手方法などを修得した上で、観光産業の経済効果や観光地・観光施設の特性などを分析することを目的とする。データ分析は基礎レベルでは、Excelを用い、回帰分析や多変量解析においては、SPSSなどのソフトウェアを用いる。

ダイバーシティ特論

ジェンダー平等や多様性をめぐる現代社会の課題について取り上げる。雇用の場におけるクォータ制の導入など政策的課題と同時に、男女間の差異をどのように概念化するかという理論的な争点について考察する。

ビジネス関連法特論

企業を組織的側面から規律する会社法や商取引に関わる商法、金融商品取引法（証券法）等の会社法に隣接する分野の法律を中心に知識を修得する。日本や諸外国の判例・学説、立法の動向を踏まえ、理論と実務の双方の観点から、受講生の研究テーマに関わる法的諸問題を考察する。

情報社会システム特論

現在、デジタル情報技術とインターネット、さらにはAIやロボットといった自律的技術が急速に進展し、社会全体のあり方を大きく変えている。この科目では科学技術と規範や文化などの社会的要因とがどのように相互に関連しているか、そして社会の側から科学技術に向きあうためにはどのような点が重要なのか、科学技術の社会的側面と歴史的観点から考える。

関連科目 (専門社会調査士)

社会調査研究特論

新聞・雑誌記事などの質的データの分析方法(内容分析等)を習得するとともに、さまざまな質的調査法(インタビュー、参与観察、ドキュメント分析、会話分析など)の習得を目指す。

社会統計特論

社会調査法・社会統計学の基礎を交えながら、多変量解析の主な理論を紹介し、計量的データ分析の基礎・応用力を養う。PCを利用しながら、実際にデータを分析し、理論と実践力の両方を習得する。

調査企画特論

社会調査を自ら企画して実施し、集計・分析を行うために必要な知識・方法を習得する。調査方法の決定、仮説構成、調査票の作成、サンプリング、実査の注意点、調査データの整理の手順といった一連の方法を理解する。実際に調査データを用いて、量的・質的分析に基づく報告ペーパーの作成も行う。

生活科学研究科

募集人数	修士課程	生活環境学専攻	: 6名
	博士前期課程	食物栄養学専攻	: 6名
	博士後期課程	食物栄養学専攻	: 2名

研究科の概要

社会や生活と深く関連のある2専攻を設置しています。

食物栄養学専攻

[博士前期課程・博士後期課程]

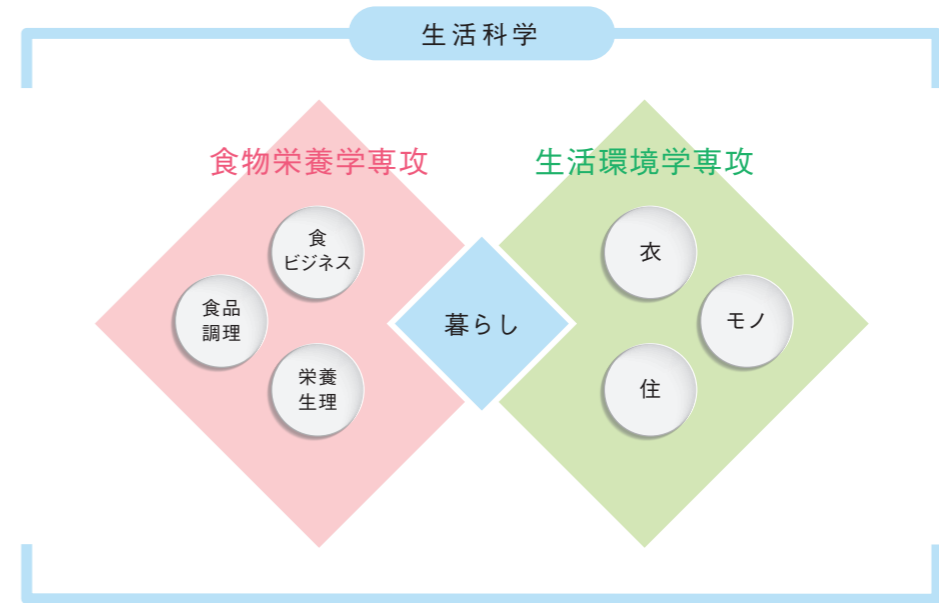
栄養学、食品学、調理学、食ビジネスあるいは生理学等に関する高度な知識と研究遂行能力を身につけます。博士前期課程では、自身が定めた研究課題に取り組み、修士論文にまとめます。博士後期課程では、さらなる学識の向上を目指すとともに、学術的価値の高い論文を作成します。

生活環境学専攻

[修士課程]

生活環境を構成する衣・モノ・住空間・建築・地域社会・人間工学・社会文化・生活心理・保育等の分野における実務と研究能力を磨きます。そのため、人間中心設計学、生活材料科学、衣環境設計学、住環境設計学、環境文化学等の各分野での高度な知識と修士論文、修士設計、修士制作の作成過程における研究能力をバランスよく高めていきます。研究成果は専門学会等で発表します。一級建築士受験資格の実務経験(1年)の要件を満たせるカリキュラム構成となっています。

研究領域の概念図



養成する人材像

食物栄養学専攻

栄養学、食品学、調理学、食ビジネス、生理学の知識を活かし、研究職、教育職、高度な専門職へ。

より深い研究に取り組むことで、基礎的あるいは実践的な研究・開発を行う研究職、教育職、および高度な専門的知識を持つ栄養士・管理栄養士や専門技術者を養成します。

キャリアパス

〈 修了後の進路イメージ 〉

研究・教育(大学、研究機関、企業) / 医療・福祉(管理栄養士、行政栄養士) / 一般企業(食品開発、スポーツ栄養士、栄養アドバイザー等) / 公務員・国際機関(厚生労働省、JICA) / 独立開業 / 進学 等

生活環境学専攻

「衣」「モノ」「住」の分野を中心に社会で活躍する専門家を養成。

衣・モノ・住空間・建築・地域社会・人間工学・社会文化・生活心理・保育等に関する高度な知識を身に付け、さらに「生活の文化的側面」を理解した専門家を養成します。実務と研究について十分な知識と遂行能力を養い、職業人として長く活躍できる基盤を築きます。

キャリアパス

〈 修了後の進路イメージ 〉

一級建築士 / 検査機関(建築、繊維・アパレル分野) / デザイナー / 研究職(大学等) / 進学 等

※各免許・資格は本学大学院修了と同時に取得または受験資格を得られるものではありません。

